

女子にはロールモデルを！

男子には意識改革を！



国立大学法人 北海道大学
理科してみよう！”Be Ambitious,女子
中高生＜女子校編＞

総括責任者名 佐伯浩
実施責任者名 有賀早苗
女性研究者支援室(FResHU)
URL:http://freshu.ist.hokudai.ac.jp

女子中高生理系進路選択支援を展開するにあたっての北大コンセプトは下記3点です。

① 目と手を使うイベントに！

講演を聞かせるだけでなく一緒に実験などを行い、実際に大学研究室で行われている研究を紹介してホンモノに触れる機会を作る。

② 興味を掘り起こそう！

興味のあるものが来るのを待たず、こちらから出向いてイベントを行い、理科好きを増やすことに努める。

③ 参加者もスタッフも男女共同参画で！

理系分野における女子の活躍を男女双方に伝えることで「女子は文系、男子は理系」という社会通念を変えていく。

女子学生を中心とした『理系応援キャラバン隊』

は、北大コンセプトを具体化した出前実験イベントを行う活動部隊です。学内理系部局から研究室単位で大学院生・PDを中心とするスタッフにより構成され、日ごろ行っている研究を紹介するブースを出展し、参加者に実験等を体験してもらうことで理科の面白さを味わってもらいます。大型バスにスタッフと実験機材を満載し、道内各地へ出向きます。イベントは会場・参加対象によって一般市民開放型と学校（授業内）開催型に大別され、それぞれの特徴を活かして効果的に行えるよう工夫しています。出前実験イベントに加え、インターネットを利用したWEBメンタリングも試行し、単発の支援に終わらず女子中高生の気持ちに寄り添いながら継続的に進路選択を応援するしくみを整えています。「理科を楽しむ」「理科に興味を持つ」から一歩踏み込んで、実際に「理系進路を選択する」「理系選択者を増やす」にターゲットを絞った支援策を検討しながら、希望をもって理系に進んだ女子中高生たちが、のびのびと活躍できる環境を大学等研究機関が整える必要性と責任を痛感しています。



国立大学法人 山形大学工学部

We can do it！

目指せ！理系ガールズ！

総括責任者：山形大学工学部長 大場好弘
実施責任者：山形大学工学部研究支援室長
森岡宏

理系ガールズプロジェクト

e-mail: yu-girls@yz.yamagata-u.ac.jp

We can do it！ 目指せ！理系ガールズ！ 理系すっぺ！
女子中高生に理系職業に対する憧れを持ってもらいました。

1. 事業のねらい

◆女子の理系進学率が低い要因の払拭

- ①女子中高生へ理系職業への憧れを持たせる
- ②保護者にも理系職業の魅力を理解させる
- ③「理科は楽しい」を知ってもらう

★ 中高生へのキャリア教育の視点で！

2. 事業の概要

- I. 啓発用小冊子「めざせ！理系ガールズ！」の作成
- II. 楽しい出前授業の実施
- III. 一日体験入学「今日だけあなたも大学生」
- IV. シンポジウム開催「のぞいてみよう！理系のお仕事」
 - ◆県内高校4校でシンポジウムを開催
- V. 親子で参加する2泊3日「未来の自分探しツアー」の開催
 - ◆保護者参加型の合宿セミナーを開催

